

【実践事例 II】

目黒区立下目黒小学校 授業者：伊藤 隆徳 教諭

1 小単元名 「わたしたちのくらしと警察の仕事」(全8時間)

2 小単元の目標

事故や事件から人々の安全を守る働きについて、警察署や交番などの施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、見学・調査したり地図などの資料を調べたりしてまとめ、警察署の関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを通して、警察署などの関係機関が地域の人々と協力して事故や事件などの防止に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に事故や事件を防止するために自分たちが協力できることを考えようとする態度を養う。

3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 事故や事件の緊急時への備えや対応などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、関係機関が相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることについて理解している。 ② 調べたことを関連図や文にまとめ、警察署などの関係機関が地域の人々と協力して事故や事件などの防止に努めていることを理解している。	① 警察署や交番などの施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見出し、関係機関や地域の人々の諸活動について考え、表現している。 ② 警察署などの関係機関の働きを比較・分類したり、結びつけたりして関連図にまとめ、学習したことを基に事故や事件を防止するために自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。	① 事故や事件から人々の安全を守る働きについて予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ② 学習したことを基に事故や事件を防止するために自分たちが協力できることを考えようとしている。

4 研究内容との関連

(1) 教材について

児童が日常生活を送る中で、「火災」と「事故や事件」に遭う機会はほとんどない。そのため、今の自分の生活が安全であるかどうか実感が得られず、消防署や警察署などの人々の活動に対して興味関心を引き出しにくいと考える。そこで本小単元では、次の2点を扱うこととした。1点めは町全体の様子が分かる絵地図である。つかむ段階で絵地図扱い、自分たちの日常生活の中にはたくさんの危険が潜んでいることを気付かせていくことで、地域の安全について問題意識をもたせることができると考えた。2点目は目黒警察署の方やPTAの方、区役所の方など、児童にとって身近な人々の活動を取り上げることである。目黒消防署や地域の方など、様々な立場の人の話を取り入れることで学習内容がより身近になり、関係機関の人の活動の様子を捉えやすいのではないかと考えた。

こうした教材を取り上げることで、児童が自分たちの日常生活の安全について考え、自分たちの暮らす地域の理解につながるものと考えた。

(2) 研究内容との関連

①社会的事象の見方・考え方を働かせて主体的に追究する問いの研究

本実践では、事故や事件などの緊急時への備えについて重点を置き、学習を進めていく。つかむ段階で緊急時への対応を扱い、備えについて視点を向け学習問題を設定していく。このように学習を展開することで、児童が消防の学習で得た視点を警察の学習でも生かし、問いをもちながら主体的に学習を進められると考えた。

②社会的事象の見方・考え方を働かせる学習活動の工夫

調べる段階に、警察官、PTA、区役所など、様々な立場の人たちの地域の安全を守る取り組みについてインタビューする活動を取り入れる。このような学習活動を取り入れることで、警察は、地域の人々と協力して地域の安全を保っていることが理解できると考えた。

③子供の学びを確実にする評価の工夫

本小単元では、毎時間、振り返りを書かせることで子供の学びを確実にしていく。また、インタビュー活動では、聞き取ったことをメモを取らせることで毎時間の学びを積み重ねていく。さらに、インタビュー活動でメモしたことを図に整理し、学びをふかめていく。これらの学習活動により、子供自身が自らの学びを実感していくことができると考えた。

5 教材構造と問いの構成

本小単元「わたしたちの暮らしと警察の仕事」で働かせたい社会的事象の見方・考え方(視点や方法)に即して教材を分析し、以下のように「教材構造図」に整理した。

学習指導要領 第3学年内容 (3)

(3) 地域の安全を守る働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
(ア) 消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解すること。
(イ) 見学・調査したり地図などの資料を調べたりして、まとめること。
イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
(ア) 施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現すること。
(内容の取扱い)
(3) 内容の(3)については、次のとおり取り扱うものとする。
ア アの(ア)の「緊急時に対処する体制をとっていること」と「防止に努めていること」については、火災と事故はいずれも取り上げること。その際、どちらかに重点を置くなど効果的な指導を工夫すること。

<教材構造図>

過程	概念や知識		資料
つかむ	日常生活と社会的事象を関連付け	⑦警察署は、関係機関と連携して緊急時の対応をして早く安全な状態にするようにしている。	110番は通信指令センターにつながり、そこから警察署や交番、パトカー、白バイなどに一斉に連絡がいくようになっている。現場では交通整理をしたり、事故や事件の起こった理由を調べたりしている。
しらべる	様々な立場の人の取組を相互に関連付けて関係図にまとめる学習活動	①警察署は、区役所や地域の人々と連携して事故や事件を未然に防ぐ努力をしている。	身近な危険を表した絵地図 交通事故発生マップ 目黒区の交通事故発生グラフ 副読本
		事故や事件がないときは、パトロールや道案内、地域の家を訪問する、交通安全教室を開くなどして安全を見守ったり、まちの人の安全への意識を高めたりしている。	ウェルカム警視庁
		区役所が監視カメラやカーブミラー、自転車専用道路などをつくったりして地域の安全を見守っている。	ガードレールの写真 カーブミラーの写真 区役所の方の話
		地域の人や保護者、学校が見回りパトロールや通学路の見守りなどをして地域の安全を見守っている。	PTAの方の話
まとめる	⑦事故や事件が起こったときに、警察はすぐにきて消防などと協力して早く安全なまちにしてくれる。また、いつもはまちをパトロールするなどして私たちの安全を見守っている。また、区役所や地域の人も警察の人と協力しながら私たちの安全を守ってくれている。		
いかす	学んだことを活用して	⑤事故や事件を少なくするために自分たちができることを考える。	地域や自分たちが安全に生活するために自分たちができることがある。 警察の人の願い 町の人の願い

本小単元「わたしたちの暮らしと警察の仕事」で働かせたい社会的事象の見方・考え方(視点や方法)を意識して、児童が追究する「問い」の構成と児童の学びの流れを以下のように「問いの構成図」に整理した。

学習指導要領 学年目標 (学びに向かう力・人間性)

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習も問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり脂質・能力を育成することを目指す。
 (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

<問いの構成図>

視点・方法	本小単元における「問い」の構成例 (0次案)	期待する子供の学びの姿
緊急時の対応	<p>単元前：地域の安全を守る仕事は、消防署以外にも警察署がある。</p> <p>問い：事故が起きたとき、警察の人はどんなことをするのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな人が事故を解決してくれるのか？ ・110番はどこに知らせがいくのだろうか？ 	<p>事故や事件を見つけたら110番をすることで警察の人が来てくれて解決してくれると思う。</p>
	<p>学習問題：事故から人々の安全を守るためにどんな人たちが、どのようなことをしているのだろう。</p>	
関係機関との連携	<p>問い：目黒警察署の人は目黒全体の安全を守るためにどのような取り組みをしているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察の人は、一日どんな仕事をしているか？ 	<p>事故や事件が無いときには、まちの様子をパトロールして安全を見守っているんだね。</p>
区役所や地域の人々との協力関係	<p>問い：地域の人は安全を守るためにどのような取り組みをしているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人は、どのようにまちの安全を見守るのか？ ・安全を守る施設はどんなものがあるのか？ 	<p>区役所や地域の人々も私たちの安全を見守ってくれているんだね</p>
事象を関連付ける生活と関連付ける	<p>問い：事故から人々の安全を守るためにどんな人たちが、どのようなことをしているのだろう。</p>	<p>事故や事件が起こったときに、警察はすぐにきて消防などと協力して早く安全なまちにしてくれる。また、いつもはまちをパトロールするなどして私たちの安全を見守っている。また、区役所や地域の人も警察の人と協力しながら私たちの安全を守ってくれている。</p>
これからの生活	<p>問い：自分たちの安全を守るために私たちはどのようにすればよいのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちができることは、何か？ 	<p>これだけ様々な人が協力して安全なまちにしようとしている。私たちにもできることはないのだろうか。</p>

6 小単元の指導計画（全8時間）

過程	ねらい（数字は時数）	主な学習活動（○） 問い（◆） 予想される児童の反応（・）	◎資料 □指導上の留意点 【評価】（★見方・考え方を働かす）
つかむ	<p>事故・事件が起こった時の警察の人の行動を理解している。 ①</p>	<p>◆事故が起きたとき、警察の人はどんなことをするのだろう。 ○絵地図から気付いたことを話し合う。 ・事故が起きている。 ○事故発生から警察の人が来るまでの流れを調べ、関連図にまとめる。 ・通信指令室が警察署や交番に連絡する。 ⑦事件や事故が起きると通信指令室から交番や警察署や関係のある機関に連絡がいく。 ○学習の振り返りを書く。 ・警察官は事故が起きたらすぐに来る。</p>	<p>◎資料 □指導上の留意点 【評価】（★見方・考え方を働かす） ◎絵地図 □事故に着目させ、警察官が事故の対処することに気付かせる。 ◎わたしたちの目黒区 □緊急時の対応の流れを消防の学習を生かして流れを予想しながら調べさせる。 【知技①】ノートなどの記述から「事故や事件などの緊急時の連絡の流れについて理解しているか」を評価する。</p>
	<p>目黒区の交通事故の現状に関心をもち、学習問題を見だし、学習の見通しをもつ。 ②</p>	<p>◆目黒区の事故の様子はどうなっているのだろう。 ○目黒区の交通事故発生マップから気付いたことや疑問に思ったことを話し合う。 ・駅の近くは色が赤い。 ・北の方に赤いところがあるよ。 ○目黒区の交通事故の発生件数のグラフから気づいたことを話し合う。 ・事故の数が減ってきているね。 ・いろんなところで事故が起きているのにどうしてだろう。 ○警察の人から目黒区の交通事故について話を聞く。 ・どんな人がまちの安全を守るのだろう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習問題：事故から人々の安全を守るためにどんな人たちが、どのようなことをしているのだろう。</p> </div> <p>○学習の振り返りを書く。 ・どうして、多くの場所で事故が起きているのに交通事故は減っているのだろう。 ・警察官は何をしているのだろう。</p>	<p>◎警視庁交通事故発生マップ（目黒区周辺） ◎目黒区の交通事故発生件数グラフ（平成26年から令和元年） □グラフから交通事故の件数が減ってきていることを捉える。 ◎警察官の動画 □警察の人だけでは、地域の安全を守れないことを気付かせる。 ◎学校付近のカーブミラーの写真 【思判表①】ノートの記述や発言から、「警察署や交番などの施設・設備の配置に着目して、問いを見出し、地域の人々の諸活動について考えているか。」を評価する。</p>
調べる	<p>目黒警察署の方の話から、事故を防ぐために日々どのような取り組みをしているか理解する。 ③④</p>	<p>◆目黒警察署の人はまちの安全を守るためにどんな取り組みをしているのだろう。 ○警察の人がどのような仕事をして、どのように安全を守っているか調べる。 ・地域のパトロールもしているんだね。 ④警察は、パトロールや安全教室などをして、事故や事件を未然に防ぐ努力をしている。 ○学習の振り返りを書く。 ・警察の人は、事故がないときは、パトロールして安全を守っている。</p>	<p>◎GT：ウェルカム警視庁 □法律によって私たちの安全が守られていることを掴ませる。 【思判表①】ノートなどの記述から、「警察署や交番などの施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見出し、関係機関や地域の人々の諸活動について考え、表現しているか。」を評価する。</p>

	<p>地域の人々が地域の安全を守るためにどのような働きをしているのか調べ、理解する。⑤</p>	<p>◆地域の人々は安全を守るためにどんな取り組みをしているのだろう。</p> <p>○地域の人(保護者)の取り組みを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路のあいさつ当番をしている。 <p>○地域の人(保護者)がどのような思いで活動しているか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子供たちの安全を守りたいと思っている。 <p>①地域の人々は、あいさつ運動をして子供たちの事故や事件を未然に防ぐ努力をしている。</p> <p>○学習の振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家の人も安全のために頑張っていた。 	<p>◎GT:PTA副会長の話</p> <p>【知技②】ノートなどの記述から、「地域の人々が協力して事故や事件などの防止に努めていることを理解しているか。」を評価する。</p>
	<p>区役所の人々が地域の安全を守るためにどのような働きをしているか調べ理解する。⑥</p>	<p>◆安全を守るための施設や設備はどのようなものがあるのだろう。</p> <p>○区役所の取り組みについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーブミラーなどを付けているんだね。 <p>○区役所の人々の活動への思いを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの安全を守りたいと考えると思う。 <p>①区役所は警察と連携してカーブミラーを付けるなどして事故を未然に防ぐ努力をしている。</p> <p>○学習の振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区役所の人々もまちの安全を思って活動している。 	<p>◎GT:区役所の話</p> <p>【知技②】ノートなどの記述から、「警察署などの関係機関が地域の人々と協力して事故や事件などの防止に努めていることを理解している。」を評価する。</p>
<p>まとめる</p>	<p>学習問題に対する自分の考えをまとめる。⑦ (本時)</p>	<p>◆事故から人々の安全を守るためにどんな人たちが、どのようなことをしているのだろう。</p> <p>○調べてきたことを、関連図にまとめる。</p> <p>○学習問題に対する自分の考えを書く。</p> <p>事故が起こったときに、警察はすぐにきて消防などと協力して早く安全なまちにしてくれる。また、いつもはパトロールするなどして私たちの安全を見守っている。また、区役所や地域の人々も警察の人々と協力してまちの安全を守っている。</p>	<p>★警察、地域、区などの取組を関連付けてまとめさせる。</p> <p>【思判表②】関連図から、「警察署などの関係機関の働きを比較・分類したり、結びつけたりしてまとめ、表現しているか。」を評価する。</p>
<p>いかす</p>	<p>地域の安全を守るために自分たちができることを考え、発表する。⑧</p>	<p>◆これまでの学習を振り返り地域の安全を守るために自分たちができることについて考えよう。</p> <p>○自分たちができることを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道に広がらずに歩く。 <p>○これから自分たちが安全のためにしていくことを短い言葉で表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通ルールを守る。 ・学童擁護さんの話をしっかりと聞く。 	<p>【態度②】ノートの記述などから、「学習したことを基に事故や事件を防止するために自分たちが協力できることを考えようとしているか。」を評価する。</p>

7 成果と課題

(1) 成果

- 「つかむ」段階で緊急時の対処を扱うことで、「消防の学習と同じだ。」と児童から発言が出された。前小単元で得た視点を本小単元の学習に生かして自ら問いをもち、追究しようとする姿が見られた。
- 関連図に警察、区役所、PTAを位置づけることで、それぞれの活動を児童が主体的に書き加えまとめることができた。

(2) 課題

- 警察と区役所、地域の人々の協力がより具体的に見えるように、調べたことを整理する時間を設定する必要がある。
- 「まとめる」段階で、児童が関連図を活用させて学習問題の解決へ導く発問の吟味が課題である。

